

無所属 茨木市議会議員 あびこ 浩子

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆ 玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了／大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆ 1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人Chacha House 代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長／2020福祉委員会顧問 歴任
- ◆ 2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1茨木市議会議員選挙で2期目当選／2013・1選挙3期目当選／2017・1選挙4期目当選
- ◆ 穂積地区在住



生きづらさや困難をいっしょに考えられる、温かいまちを創りたい！

早いもので市議会議員になって12年が経ちました。

市民が主役の市政をめざして、4期目の取組を続けてきました。この4年の間に、大阪北部地震が起こり、台風21号の被害があり、いろんな困難が現れてきました。そして今年はコロナウイルスが世界を駆け巡っています。コロナ対策として「新しい生活様式」という「人と人が距離を取ってお付き合いする」ことを余儀なくされています。これまでにない状況に戸惑うばかりです。コロナ禍での緊急事態宣言では、仕事が止まり学

校園が休校休園になり、子ども達が家庭で授業を受けることとなった時に、各家庭での学習環境、経済力の差が如実に表面化しました。飲食店をはじめ接客業はどこも仕事が止まり雇用も不安定です。収入の道が閉ざされ、自殺者の数が増えています。

この困難の中、生きづらさを抱え、生活に困難があっても、誰もが孤立することなく、必要な支援につながり、誰かがそばに居て一緒に考え支え合える温かいまちを創りたいと強く思っています！

あびこ浩子は、どう進めていくのか？裏面に続く→

あびこ浩子は進めます！

「しんどい時に、しんどいと言える人がいる、聞いてもらえる場所があること」

◆若者たちへの支援について

生きづらさを抱える若者たちへの支援として「ユースプラザ事業」が展開されています。「中学生から概ね39歳まで」が対象ですが、40歳以上の方に支援が届かない現実があります。

中学生～若者の居場所 ユースプラザ

ユースプラザEAST「ちよい(choi)」からメッセージです！

ユースプラザは、中高生からおおむね39歳までの不登校・ニート・ひきこもりなど「生きづらさを抱える若者」の居場所・相談機能を有した施設として市内、東・西・南・北・中央と5カ所に開設しています。

「社会的孤立」が言われる中「ひとりぼっちで寂しい」「なにをすればいいかわからない」「なかなか家から外に出ることができない」など「生きづらさを抱えた若者」が集い、仲間になれる場所になっています。さまざまなイベントやセミナーなども開催しています。ご本人からの相談はもちろんのこと、ご家族からのご相談も承ります。(総持寺いのち・愛・ゆめセンター別館(茨木市総持寺2-5-36 電話 072-628-6993))



◆子どもの貧困対策について

コロナ禍で緊急事態宣言中に学校園が休園の間、給食がなく子どもたちがきちんと食事をとれているのか不安でした。市内には何か所も「子ども食堂」があります。コロナ禍での取組に苦勞されています

ベンボスタ・子ども食堂からメッセージです！

ベンボスタ子ども食堂は3月から中止していましたが、学校の再開や「三密」を避けること、飛沫を防止するためのアクリル板の設置、「手洗い・消毒」を徹底していくこと、参加者を特定するため名簿作成し、7月から再開しました。これまで牛肉・野菜・果物を定期的に提供していただいていた方にあらためて再開のご連絡をしたところ「再開できるようになってよかったですね」「子どもたちも待ってますよね！」「引き続き応援させていただきます」と待ってましたと言わんばかりのお返事をいただきました。地元小学校にご協力いただきチラシを配布(例年は4月)したおかげで、いつもは40名前後のところ、70名を超える子どもたちと保護者の方々が来てくれました。この11月も40名の参加がありましたが、「第3派」と言われるほど感染が増えてきている現状で、今後どう



なっていくのか不安を抱えながらの日常生活が続きますが、たくさんの笑顔に出会える子ども食堂が継続できればと思います。いつもと同じ「安定」のカレーライスをつくらせて、来月も待ってます！スタッフ手作りののれん、アクリル板で飛沫防止(茨木市沢良宜浜三丁目14番1号 ☎ 072-648-7980)



また、「学習・生活支援事業」では、子ども達の学力のみならず生活支援もすることで、高校進学後の中退率が下がり、新たな進路へと踏み出していく取り組みも進められています。

◆子育て支援について

身近な場所で、相談できる、友達がいる、親子の居場所「つどいの広場」があります。コロナで閉所中も電話相談などで対応していました。

おやこのひろば「ちゃちゃはうす」のスタッフさんのお話です！

コロナ対応で参加人数を減らしてオープンしています。季節のイベントでは多くの親子がキャンセル待ちをしていただくほど参加希望があります。子育て中を楽しみ過ぎていただけるようにスタッフ一同全力で取り組んでいます。お部屋にはたくさんのおもちゃがお子さんを待っています！小さな悩みでも遠慮せずにご相談に来てください。一時預かりもしています。(茨木市下穂積1丁目6-21-101 ☎072-664-6331)



◆高齢者支援について

高齢者活動支援センター(シニアプラザ)では様々な活動が展開されています。「居場所と出番の創出」を実現しています。

センター長さん、理事長さんのお話です！

コロナで閉館の間「いつになったら再開するのか？」と多くの問い合わせがあったそうです。現在3密を避けて様々な活動が展開中です。参加人数を減らして、フェイスシールド、マスク着用で活動しています。特に健康体操やタブレット教室は大人気！「生きがいワーカーズ事業」で立ち上がったグループが講師をいただいています。再開した時に「久しぶりに人としゃべった」とおっしゃる方が何人もおられました。誰かとつながること、話をすることがとても大切だと感じています。感染予防対策実施中です。みなさん、お越しください(茨木市桑田町24-21 ☎072-632-7411)



- 1 子どもと若者をあらゆる手立てで応援します！
- 2 子どもの貧困対策を進めます！
- 3 高齢でも病気を抱えていても、障害があっても安心できるまちに！
- 4 買い物、通院など生活に困難を抱える方々にバリアフリーのまちづくりを進めます！
- 5 日ごろのセーフティネットワークのつながりを大切に、災害に強いまちづくりを進めます！
- 6 コロナの影響で様々な苦境があります。支援を求める声を受けとめます！

身近な居場所づくり、進めています！！



あびこ浩子連絡先
〒567-0045 茨木市紫明園
10-74-405

